

## 下総国府を“体感”できる VRゴーグルを考古博に設置しました！

**最** 新の技術を使って「下総国府」「下総国分寺」「北下遺跡」の歴史と魅力を3DCGで体験できるVRゴーグルを考古博物館に設置しました。

下総国府にかつて存在していた国庁や下総国分寺の七重塔など、当時の建物や風景を再現した臨場感あふれる映像をお楽しみいただけます。ご来館の際にはぜひこちらのVRゴーグルも体験してみてください！



図1 下総国分寺3Dイメージ



図2 下総国府3Dイメージ

## 『見つめなおす、市川の宝物』 開催は12月27日まで

**歴** 史博物館の収蔵庫で眠っている資料を改めて清掃・調査する…という、収蔵庫整理事業の成果報告展示です。昨年度から引き続き、國學院大學観光まちづくり学部の学生さんと協力して実施しました。

この調査から改めてわかったことや、資料の新たな一面を知っていただくことを目的としています。今年由市川市の海苔養殖道具に着目しました。牡蠣殻のついた網や海苔づくりには欠かせない海苔簀、前掛けなど…。これらをよく見てみると、細かいところに作業効率を上げるための工夫が施されているのです。

残りの会期が短くなってまいりました！ぜひ常設展示室の海苔コーナーとあわせてご覧ください。

考古・歴史博物館  
公式SNSで情報発信中！



X (旧Twitter)



Instagram

第2回 収蔵庫整理事業報告展示

見つめなおす、  
市川の宝物

2025年7月5日(土)～12月27日(土)  
市立市川歴史博物館 | 階常設展示室

# 考古・歴史博物館だより

第76号  
発行 令和7年11月

市川考古博物館  
〒272-0837  
市川市堀之内2-26-1  
☎ 047-373-2202

市川歴史博物館  
〒272-0837  
市川市堀之内2-27-1  
☎ 047-373-6351

## 11月15日『オータムフェスタ』開催します！

**毎** 年恒例となりました博物館主催のオータムフェスタを11月15日に開催します。今年はサクソフォン奏者2名によるミニコンサートを13:00から考古博物館に隣接する堀之内貝塚の広場にて予定しております。考古博物館では10:00～12:00までの間、昔の火おこしや貝塚案内、縄文服体験や組み紐づくりといったイベントが、歴史博物館では10:00～13:00までの間、紋切りあそびや縄ない機体験、昔のおもちゃであそぼうや竹と枝と木の実の工作、そして紙芝居劇場(11:00～)といったイベントを開催する予定です。小学校の親子で楽しめるようなイベントとなっておりますので、ぜひご来場ください。

期 間： 令和7年11月15日(土)  
10:00～14:00  
コンサート： 13:00～13:45  
場 所： 考古・歴史博物館  
堀之内貝塚広場

11.15 (土) オータムフェスタ  
申込不要 10:00～14:00

コンサート  
時間：13:00～13:45  
場所：貝塚広場(考古博物館隣接広場)  
曲目：ソプリメドレー、アメイジング・グレイス、ルクレール/2本のサクソフオンのためのソナタ他

考古博物館 10:00～12:00  
・昔の火おこし・貝塚案内  
・縄文服体験・組み紐づくり

歴史博物館 10:00～13:00  
・紋切りあそび・縄ない機体験  
・昔のおもちゃであそぼう  
・竹と枝と木の実の工作  
・紙芝居劇場  
時間：11:00～11:30  
場所：2階特別展示室

2階 企画展  
昔の暮らし  
開催中

お問い合わせ  
市立市川考古博物館  
〒272-0837 千葉県市川市堀之内2-26-1  
TEL 047-373-2202

交通・アクセス  
北総線「北部分駅」下車 徒歩 10分  
京成バス(夜81・43)「堀の内3丁目」下車 徒歩 5分  
(市44・松51・51-2)「博物館入口」下車 徒歩 10分  
駐車場あり(駐車場が狭いため、公共交通機関をご利用ください)

## 【当館利用者の皆様へのお願い】

見学の際、展示ケース等の館内の物には触れないようにお願いします。

## ご利用案内

【時間】 9:00～16:30  
【休館日】 月曜日(祝日の場合は翌日)  
【入館】 無料、補助犬同伴可  
車いす各館1台あり

【駐車場】 一般車30台  
お体の不自由な方等の車両 各館1台あり  
大型バスの利用不可



## 市川の海を探る① 市川市出土の製塩土器 —北下遺跡—

市川市における専用の道具を用いた塩づくりの起源について、具体的な年代を示すことは難しいが、今から約2300年前、縄文時代の終わり(晩期)と呼ばれる時代であったと考えられる。

縄文時代の製塩は、製塩土器と呼ばれる、塩づくりに使用された土器で海水等を加熱することによって行われていたとされる。製塩土器には、一般的な縄文土器に見られるような文様等の装飾がなく、比較的薄手で粗いつくりであり、そのほとんどは破片で発見される。

市川市では、外環自動車道建設に際し調査が行われた一帯地域に含まれる、北下遺跡および道免き谷津遺跡から出土している。ここでは、特に北下遺跡出土の資料に着目する。

北下遺跡は、縄文時代晩期の遺物包含層を有する遺跡である(第1図)。本遺跡においては、縄文時代晩期の終わり頃(大洞A式期前後)に属すると考えられる製塩土器の破片がまとまって出土し、うち多くが赤く変色しており、土器の表面に剥落があることから、これらの資料は二次焼成を受けたと考えら

れる(第2図)。また、製塩土器が一箇所で大量に廃棄されていたことから、製塩にかかわる作業が推定できるだろう。

縄文時代晩期の海岸線は現在とほぼ変わらないとされているが、遺跡近辺部には汽水域が想定される(田邊2022)。汽水域における海水の塩分濃度は30‰[註]前後(東京都島しょ農林水産総合センター2022)であり、海水よりもやや低い数値である。そのため、製塩をおこなう際に、どのように塩分濃度を濃縮していたのかについて、近年の製塩研究では大きな関心が寄せられている。

註…海水1kgにあたり含まれる塩類の量をg値で示す単位。

### 【参考文献】

田邊由美子2022「縄文海進と貝塚」  
『笹川平和財団 Oncean Newsletter』第518号  
東京都島しょ農林水産総合センター2022「湾奥における塩分濃度の推移」『東京湾だより』令和3年1月14日号  
(考古博物館学芸員 岡本 樹)



第1図 北下遺跡の位置  
(国土地理院地図 [maps.gis.go.jp] > 色別標高図を基に作成)



第2図 北下遺跡出土の製塩土器

※この7点のうち正しい産地同定はNO.9の1点(湖西窯)にすぎない。

## 市川の民具⑮ 種つけ用網 —第2回収蔵庫整理事業報告展示資料紹介—

歴史博物館では、昨年度から國學院大學観光まちづくり学部を中心とした学生さんにご協力いただき、収蔵庫整理を行っています。今年度は海苔づくりに関する民具を調査しました。

調査を進めていくと、さまざまな発見がありました。数々の資料の中から、今回は海苔を育てるときに使う道具をご紹介します。

これは『種つけ用網』といいます(写真1・2)。この網に海苔の種を付けて育てます。この種つけ用網からは、海苔の種をまんべんなく付けるための工夫を見ることができます。よく見ると、二重になった網の間に牡蠣殻がたくさん挟まっています。網の間に牡蠣殻を敷き詰めるのはなぜでしょう。それは海苔の種を付けるときに関係があるのです。

海苔づくりは、海苔の種を牡蠣殻に付けるところから始まります。海苔は、春から初秋の間は糸状体という姿になって牡蠣殻の中で過ごします。

水温が下がる初秋の頃、牡蠣殻から海苔の種が飛び出すようになると、海面に40～50枚ほどに重ねた海苔網

を張り、その下に牡蠣殻を吊るしたり敷き詰めたりして種を網に付着させます。敷き詰めて種を付ける方法を浮上筏式ふじょういだしきと呼びますが、そのときに種つけ用網りくじょうさいびまうが使用されるのです。現在は陸上採苗といい、たくさんの海苔網を大きな水車に巻きつけ、回転させながら種を均一に付着させる方法へ切り替わりつつあるようです。

ここで紹介した資料のほかにも、海苔づくりにはさまざまな道具が使われています。『第2回収蔵庫整理事業報告展示 見つめなおす、市川の宝物』は12月27日(土)まで開催中です。常設展示室の資料とあわせて、お楽しみください。

### 参考文献

市川市役所経済部農水産課『市川の海苔づくり』、平成7年  
市川市魚食文化フォーラム実行委員会『市川のノリづくり』、平成23年  
(歴史博物館会計年度任用職員・学芸員 吉田 芽以)



【写真1】 種つけ用網



【写真2】 網の間に挟まった牡蠣殻